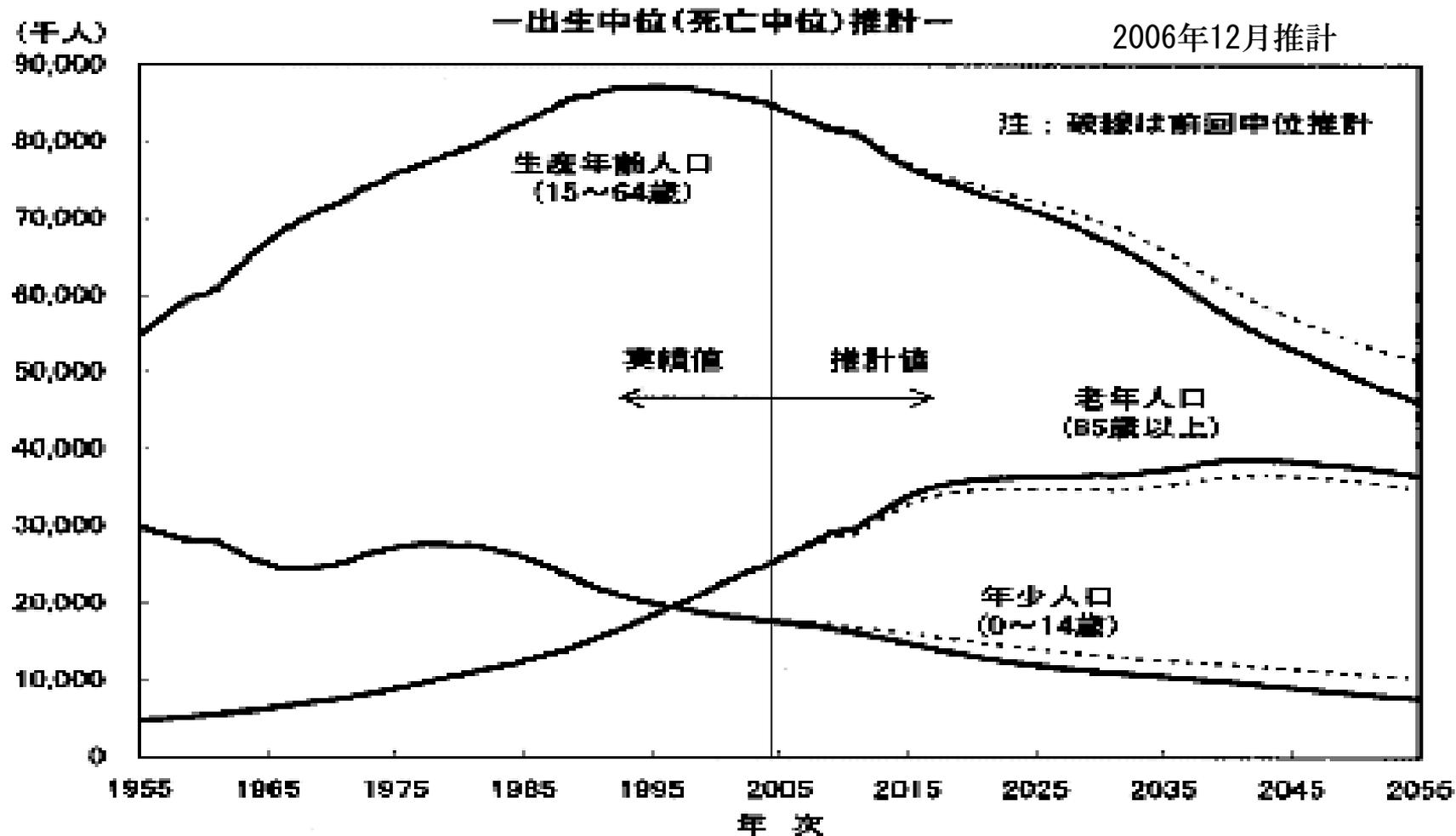


IHE活動に期待すること



慶應義塾大学病院教授
(日本IHE協会普及推進委員会)
三浦公嗣

高齢者人口の将来推計



2015年から2025年までの各地域の高齢化

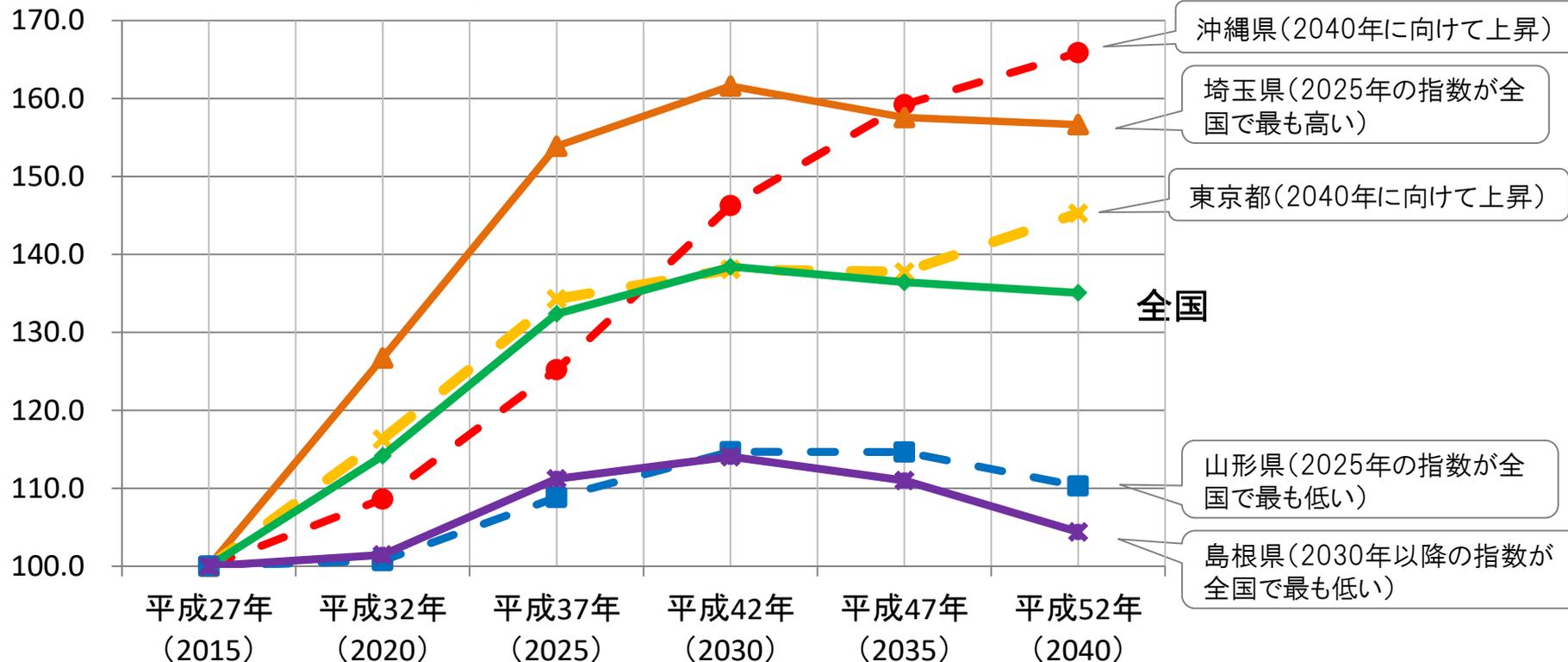
○75歳以上人口は、多くの都道府県で2025年頃までは急速に上昇するが、その後の上昇は緩やかで、2030年頃をピークに減少する。

※2030年、2035年、2040年でみた場合、2030年にピークを迎えるのが34道府県、2035年にピークを迎えるのが9県

※沖縄県、東京都、神奈川県、滋賀県では、2040年に向けてさらに上昇

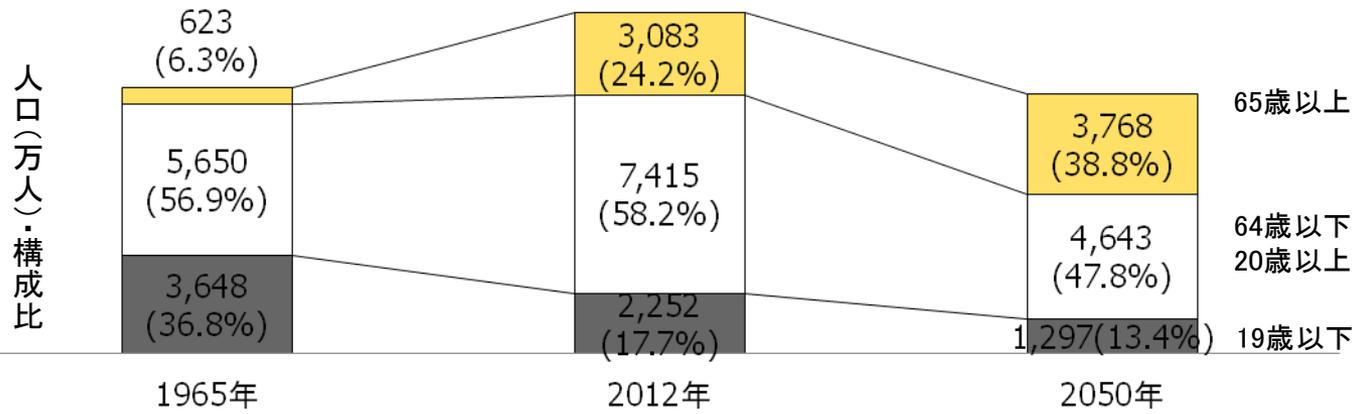
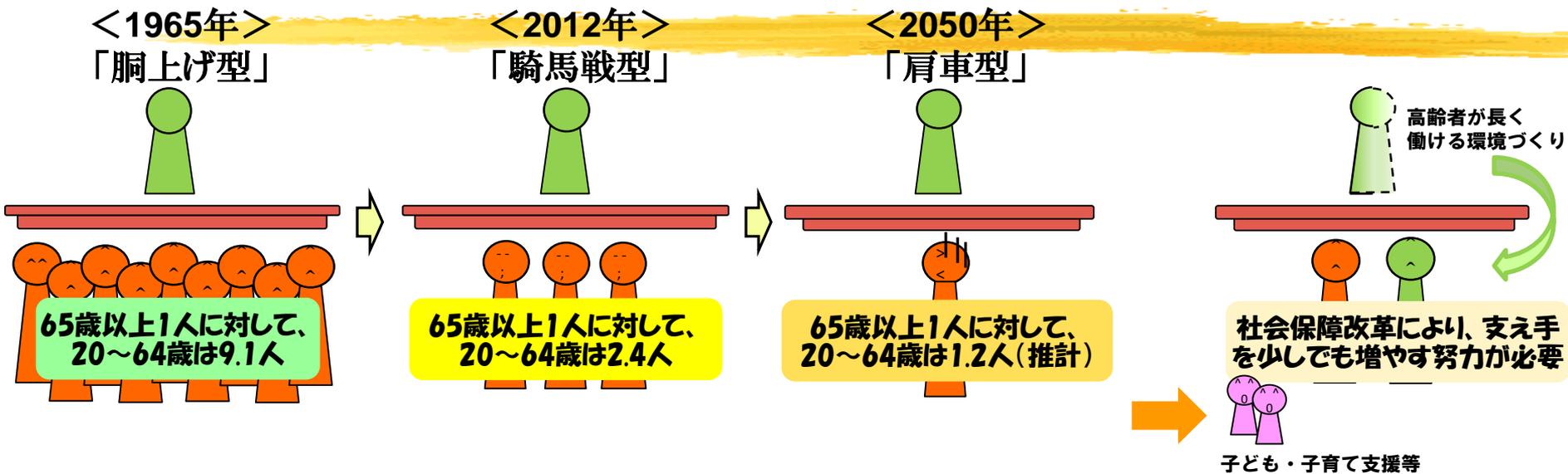
○2015年から10年間の伸びの全国計は、1.32倍であるが、埼玉県、千葉県では、1.5倍を超える一方、山形県、秋田県では、1.1倍を下回るなど、地域間で大きな差がある。

75歳以上人口の将来推計(平成27年の人口を100としたときの指数)



「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れます。

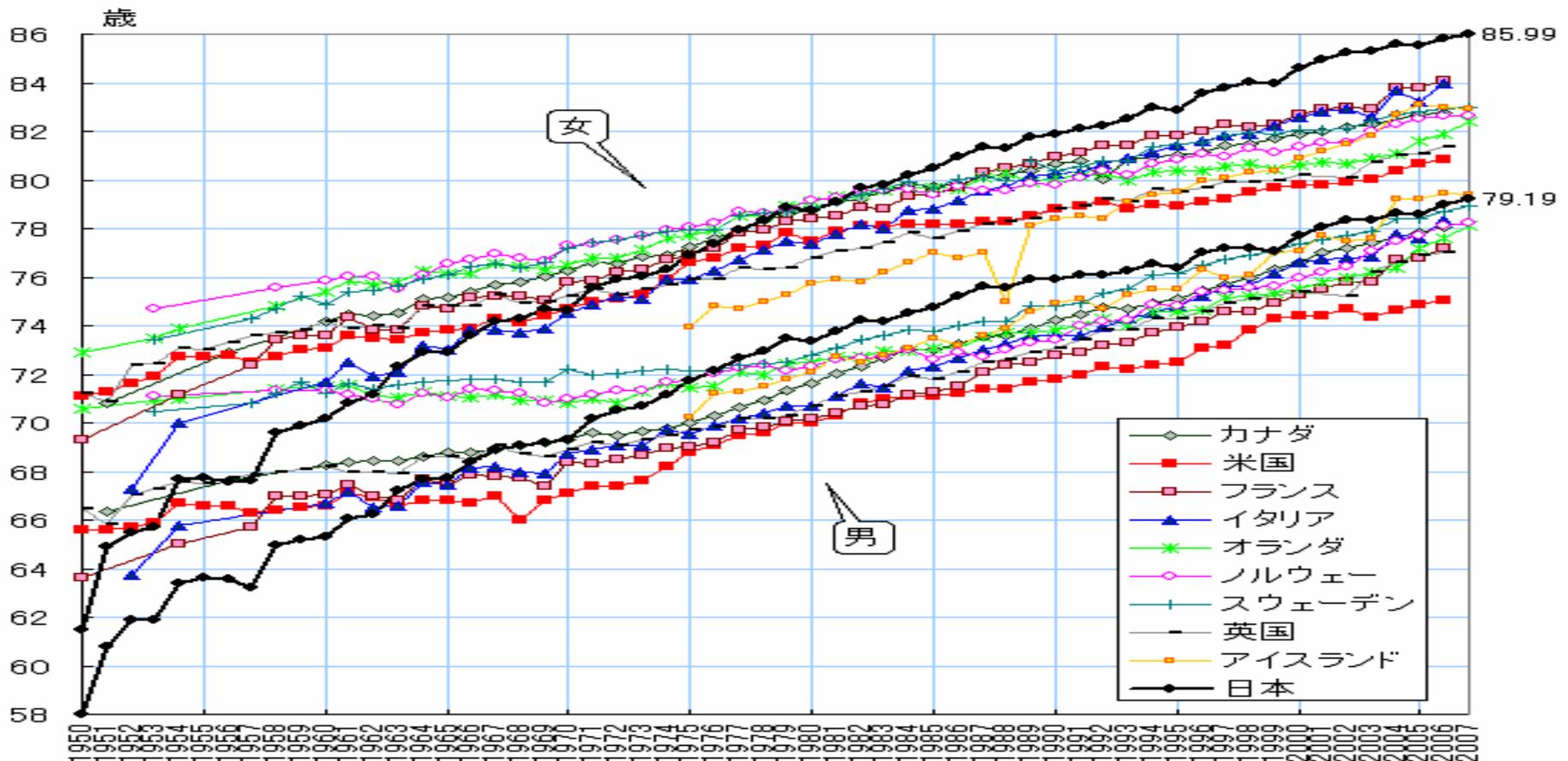


1年間の出生数(率)
 182万人 (2.14) 102万人 (1.37) 56万人 (1.35)

(出所)総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、厚生労働省「人口動態統計」

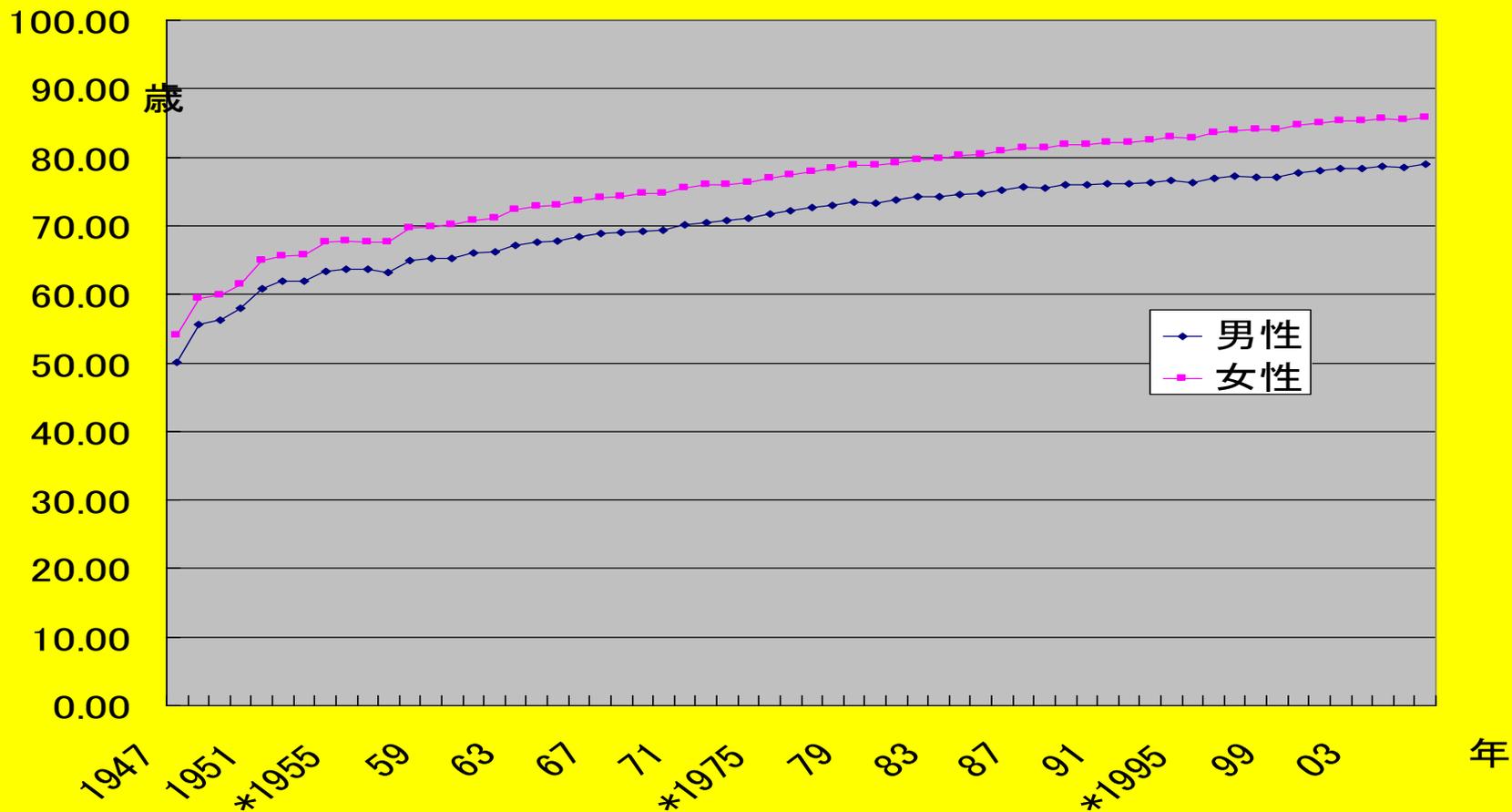
主要先進国における平均寿命の推移

主要先進国における平均寿命の推移



(資料) 厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」(日本とそれ以外の2007年データ)
WDI Online 2008.7.31、社会保障人口問題研究所「人口統計集2005」(1959年以前)

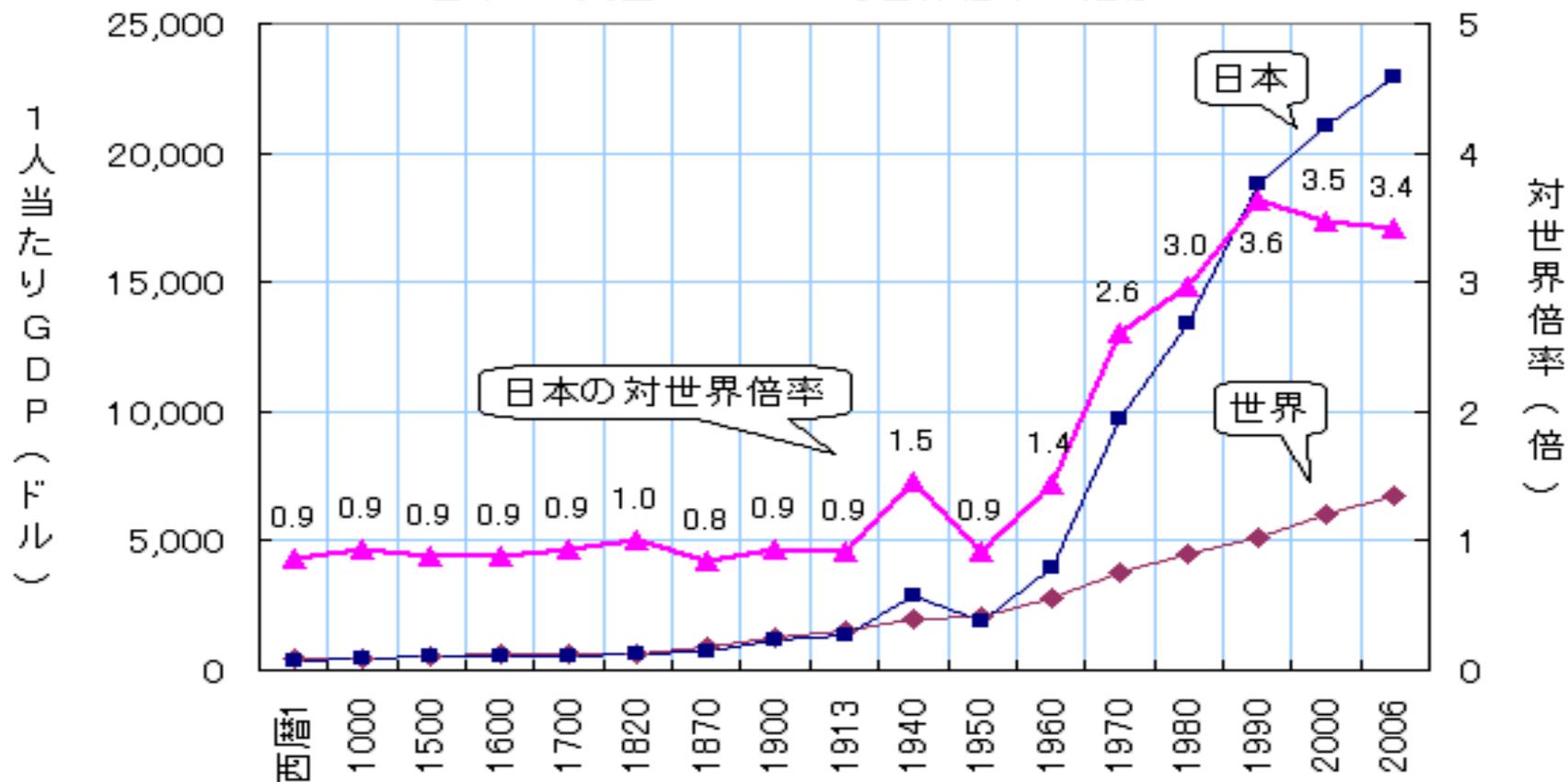
わが国の平均寿命の推移



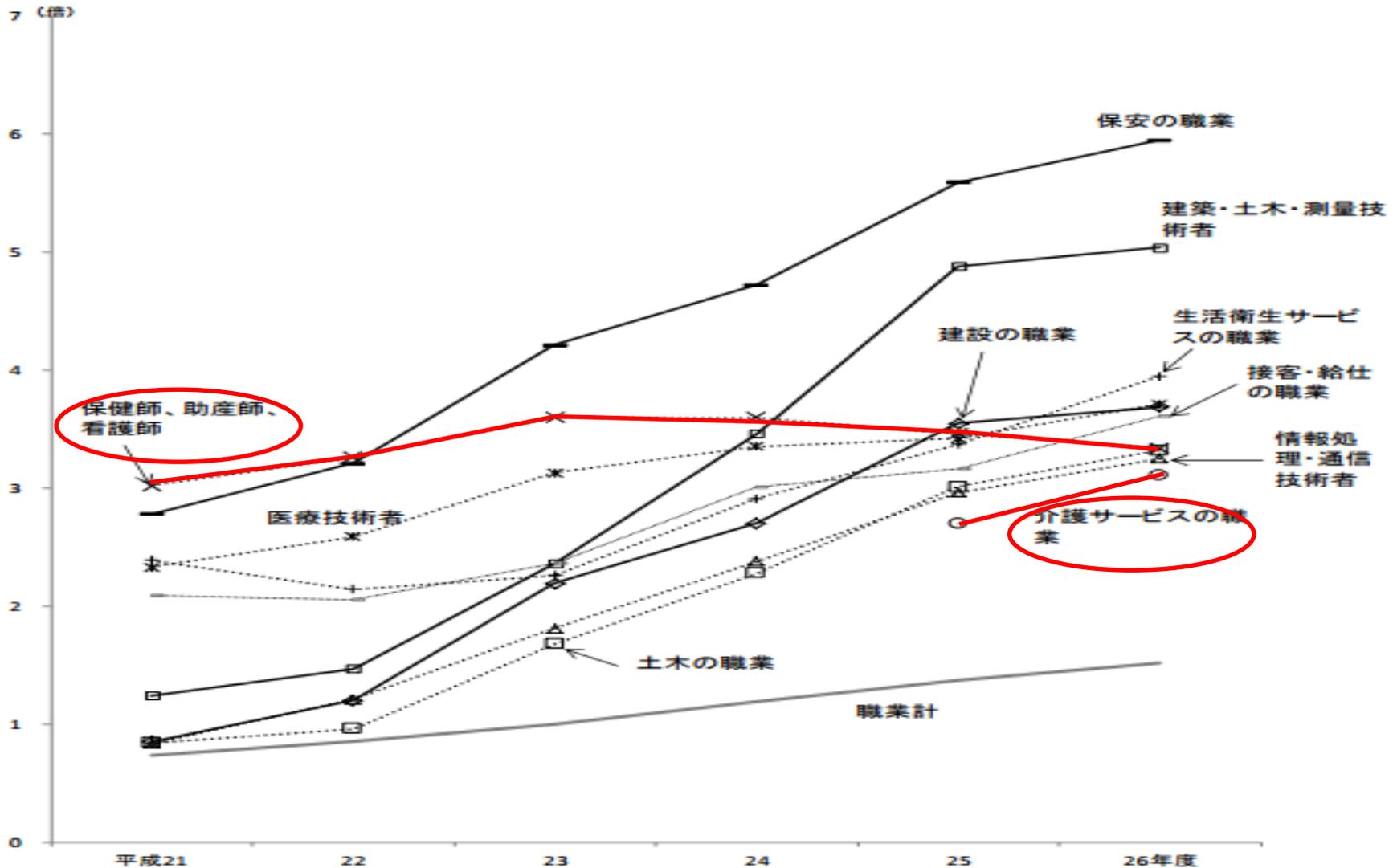
わが国のGDPの推移

1人当たりGDPの歴史的推移(日本と主要国)

日本の1人当たりGDPと対世界倍率の推移



職業別の新規求人倍率の推移

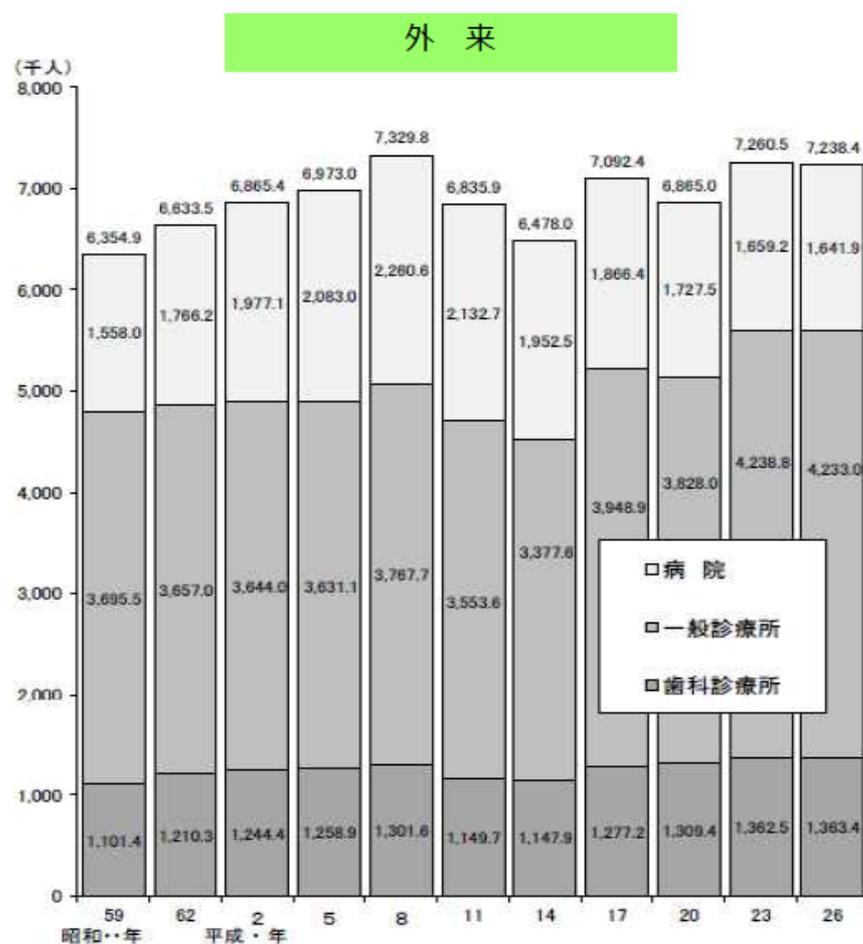
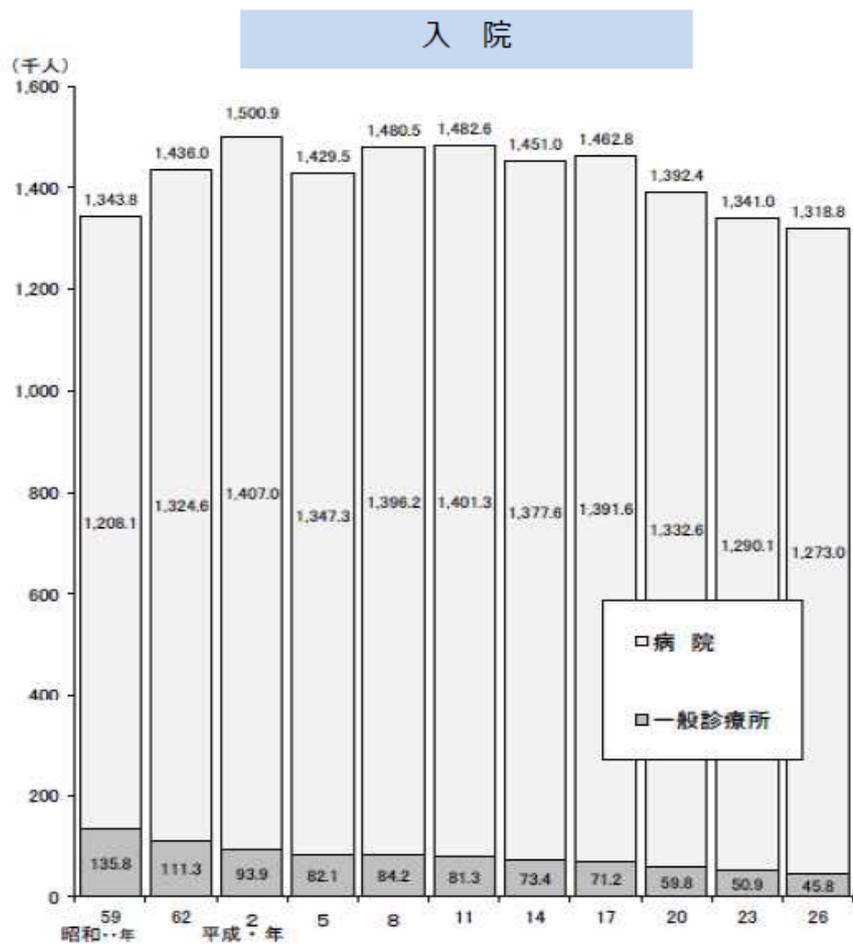


資料出所：厚生労働省「職業安定業務統計」

- (注) 1) 表1のうち平成26年度において新規求人倍率が高い10の職業について示した(「保安の職業」は大分類であり、他の9つの職業は中分類である)。
 2) 数値は新規学卒を除きパートタイムを含む常用である。
 3) 介護サービスの職業は平成23年改定厚生労働省編職業分類により定められたもので、平成25年度以降を示した。

入院／外来患者数の推移

○ 入院患者数は減少傾向にある。一方外来患者数は横ばいからやや増加傾向である。



年齢階級別の入院／外来受療率の推移

○ 入院、外来ともに受療率については全体として低下傾向であり、特に65歳以上で顕著である。

年齢階級別に見た受療率(人口10万対)の年次推移

